

器具器械 16 体温計

電子体温計

テルモ電子体温計 C 2 5 0

*

【警告】

<使用方法>

- * 子供だけで使わないこと。
[本品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをすることがある。]

*

【禁忌・禁止】

<使用方法>

- * 引火性のある環境では使用しないこと。
[引火又は爆発の誘因となる可能性がある。]

【形状・構造等】

<構造図>

●本体



【電気的定格】

- (1) 電源 リチウム電池 (CR2032) 1個
- (2) 電源電圧 DC 3V

【機器の分類】

電撃保護 内部電源機器 B F 形

* 【性能、使用目的、効能又は効果】

<使用目的>

本品は日本工業規格 (JIS T 1140 電子体温計) に適合する予測式・一般用・測温部一体形で一部防浸形の電子体温計であって、平衡温予測、予測マーク表示、予測成立告知、定刻告知、エラー表示、オートパワーオフ、オーバー表示及び電源電圧低下表示機能等を有するものである。

【仕様】

種類：一般用測温部一体形・一部防浸形
検温方式：予測式 (予測検温・実測検温兼用)
温度検出：サーミスタ

検温部位：ワキ下

温度範囲：32.0～42.0℃

検温時間：予測検温時間：平均 90 秒

(50～120 秒/メロディで告知)

約 4 分 30 秒後実測表示に切替

実測検温時間：約 10 分 (メロディで告知)

メロディ：メリーさんの羊

温度精度：± 0.1℃

(恒温水槽を用いて約 1 分間測定したときの表示温度の標準温度計に対する誤差)

表示方式：液晶表示素子による 3 桁デジタル表示


(最小表示単位：0.1℃)

使用条件：10～40℃

* 主な付加機能：

- ・ 予測マーク表示：予測演算により得られた平衡温度を表示している場合に、表示部の「℃」の上に「-」が点灯する。
- ・ 予測成立告知：測定開始後、温度上昇が安定し、単位時間当たりの検出温度の上昇が規定の値以下でかつ予測値が安定すると、メロディが鳴る。
- ・ 定刻告知：予測成立告知後に測定を継続し、10 分を経過するときメロディが鳴る。
- ・ オートパワーオフ：検温終了後、自動的に電源が切れる。

* 警報機能：

- ・ エラー表示：測温部が測温部位から離れるなど測定が正しく行われなかったとき、メロディが鳴り、表示部に「E」を表示する。
- ・ オーバー表示：測定温度が 42℃を越えるとメロディが鳴り、表示部に「O」を表示する。
- ・ 電池電圧低下表示：電池の電圧が低下すると「」マークが表示される。

* 【操作方法又は使用方法等 (用法・用量を含む)】

【検温のしかた】

1. 電源スイッチを入れる。
2. ワキ下中央に体温計の先端 (測温部) をあてる。
3. 体温計をななめ下から 30° くらいの角度で、押し上げるようにはさみ、ワキをしっかりとしめる。
4. メロディを聞いてから体温計を取り出す。

* 予測検温

最初のメロディで取り出す (約 50～120 秒で測れ、予測マークが点灯している)。

* 実測検温

2 度目のメロディが鳴るまで待って取り出す (約 10 分で測れ、予測マークが消えている)。

より厳密な体温を測定するには、実測検温を行う。

取扱説明書を必ずご参照ください。

5. 電源スイッチを押して電源を切る（電源を切り忘れても約3分後に自動的に電源が切れる）。

[電池の取り替えかた]

1. 小型のプラスドライバーでねじをはずし、電池カバーをはずす。
2. つまようじなどで古い電池を取り出す。
3. 電池を入れる。
4. 電池カバーを本体にはめ、ねじをしめる。
5. 電源スイッチを入れ、正しく表示が出ることを確認する。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- * ワキ下以外（口中など）で使用しないこと。〔誤飲やけがの可能性はある。正確な検温ができない。〕
 - ・ 体温は時間帯、気温、睡眠、感情などの要因で常に変動しているため、平熱をあらかじめ検温しておくこと。
- * 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ること。〔正確な検温ができないことがある。〕
 - ・ ワキ下に汗をかいている場合は、タオルなどで汗を拭き取ること。〔汗をかいたまま測ると、ワキ下が冷えているために正確な検温ができない。〕
 - ・ 検温中は電源スイッチを押さないように注意すること。〔電源スイッチに触れると、電源が切れることがある。〕
- * 検温中は、体温計の測定部が正しい位置からずれないように、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないこと。〔正確な検温ができないことがある。〕
 - ・ 体温計を真横からはさまないこと。〔先端がワキ下中央にあたらないうえに、正確な検温ができない。〕
- * ワキ下に強く密着させて測定すること。〔お年寄り、やせている方などで、ワキ下の密着が弱い場合は、正確な検温ができない可能性がある。〕
 - ・ 取り出してから表示値が変化したときは、変化後の（固定した）値を読み取る。〔予測演算が終了するまで若干の時間がかかるため。〕
 - ・ 数値を読み取る際、体温計の先端に触れないこと。〔表示が変化することがある。〕
 - ・ 表示が点滅するときは、最初から検温をやりなおすこと。
- * くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端を冷ましてから検温すること。〔そのまま測ると、測定値が高くなる。〕
- ・ メロディが止まらないときは、電源スイッチを6秒以上の間押し続けて電源を一度切ってから再度電源を入れ直すこと。

* 【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- * 電池は子供の手の届かないところに置くこと。〔子供の手の届かなくとも誤飲の可能性はある。〕
- * 人の体温測定以外に使用しないこと。〔けがの可能性はある。誤作動や故障の原因となる。〕
- * 測定結果の自己診断、治療は行わないこと。〔自己診断、治療は危険である。〕
- * 添付文書及び取扱説明書を確認の上、使用すること。
- * 使用前に、外観に破損などが無いことを確認し、異常が認められた場合は使用しないこと。〔測定値の異常や、けがの可能性はある。〕
- * 本品に液体や異物が入らないように注意すること。〔液体や異物が入ると内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となる。〕
- * 本品は気密構造ではないので、活性ガス（消毒用ガスを含む）環境や多湿環境などで使用、放置しないこと。

〔内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となる。〕

- * 電池交換の際、はずしたねじ、電池カバーは子供の手の届かないところに置くこと。〔子供の手の届かなくとも誤飲の可能性はある。〕
 - ・ 強くかまない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っぱらないこと。〔故障の原因となる。〕
 - ・ 本品の表示部を強く押さえたり、ボールペンやツメなど、硬いもの、先の尖ったものでつついたりしないこと。〔表示部の破損や故障の原因となる可能性がある。〕
- * 強い静電気や電磁波に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないこと。〔誤作動や故障の原因となる。〕
 - ・ 古い電池を取り出すときは、つまようじなどを使い、金属製の棒などは使用しないこと。〔故障の原因となる。〕
 - ・ 電池交換の際、電池を上から無理な力で押し込まないこと。〔本体が破損する原因となる。〕
 - ・ 電池カバーを本体にはめる際、ねじを強くしめすぎないこと。〔本体が破損する原因となる。〕
 - ・ 指定以外の電池を使用しないこと。〔故障の原因となる。〕
- * 電池交換の際は、電池のプラス面を上にして入れること。〔プラス、マイナスの向きを間違えて入れると故障の原因となる。〕
 - ・ 電池を火の中に投げ込まないこと。
 - ・ 分解、修理、改造は行わないこと。〔故障の原因となる。〕

【作動・動作原理】

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約4分30秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する電子体温計である。検温中は、約50～120秒の時間に予測が成立したことを知らせるメロディが鳴る。検温をそのまま続けると、約10分後に実測検温終了のメロディが鳴る。

* 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

- * 暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。
保管条件： 周囲温度 -10～50℃

[保管上の注意]

- ・ 日光や紫外線などの強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しないこと。〔外装の変色や劣化が発生することがある。〕
- ・ 収納ケースに収める際、乾いた布などで水気を拭き取ること。〔本品の表示窓部分及びスイッチ部分は防水構造ではないため、水気がついたまま収納ケースに保管すると故障の原因となる。〕

<有効期間・使用の期限>

- ・ 標準的な使用期間の目安：4.5年〔自己認証による〕

* 【保守・点検に係る事項】

[保守・点検上の注意]

- * 本品の汚れがひどい場合は、布などを水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ること。
- * 水洗いしないこと。〔本品の表示窓部分及びスイッチ部分は防水構造ではないため、故障の原因となる。〕
- * シンナーなどの有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないこと。〔有機溶剤や使用可能な消毒剤以外を使用した場合、本品の破損、変色や故障の原因となる。ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがある。〕

- *・熱湯消毒しないこと。〔故障の原因となる。〕
- *・クレンジングは使用しないこと。〔故障の原因となる。〕
- *・超音波洗浄しないこと。〔故障の原因となる。〕
- *・ドライヤーなどを使用して乾燥させないこと。〔故障の原因となる。〕

【包装】

- ・ 1 個/箱

*** 【製造業者又は輸入販売業者の氏名又は名称及び住所等】**

製造業者：テルモ株式会社

住所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

*電話番号：0120-00-8178（テルモ・コールセンター）

